

科目	単位	時間数	配当年次	学期	講師名
情報科学 I	1	15	1	1	院外講師
到達目標					
コンピューターの基礎的知識と情報倫理について理解できる。					
時	授業内容		方法	備考	
1	1. パソコンの基本操作 1)ファイル管理 2)インターネットの利用 3)編集範囲の指定 4)コピーと貼り付け		講義 演習		
2	2. ワードプロソフト(Word)の基本操作 1)文字飾り 2)表の作成と加工 3)検索と置換 4)図形・画像の活用、数式エディタ		講義 演習		
3	3. 表計算ソフト(Excel)の基本操作 1)セルとシート、セルの書式、罫線 2)範囲名、ウインドウの分割と枠固定 3)印刷の設定		講義 演習		
4	4)計算式、日付の計算、ユーザ定義書式 5)グラフの作成		講義 演習		
5	4. Power Pointの基本操作 1)スライド作成、アウトライン 2)アニメーション 3)スライド操作		講義 演習		
6	5. 課題演習		演習		
7	6. 情報倫理 1)ネット時代のトラブル 2)インターネット上のコミュニケーション 3)情報の信憑性 4)情報の守秘義務		講義		
8	終講試験				
評価方法		実技試験・筆記試験(100点 配点割合は講師より説明) 他の事項については、履修規程第6条、第7条に定めるとおりとする。			
テキスト		医療系のための情報リテラシー—Windows 10、office2016対応— 共立出版 別巻 看護情報学 医学書院			

科目	単位	時間数	配当年次	学期	講師名
情報科学Ⅱ	1	15	2	1	院外講師
到達目標					
看護研究に必要な統計の基礎的知識と情報セキュリティについて理解できる。					
時	授業内容		方法	備考	
1	1. 統計の基礎知識 1) データベース 2) 関数		講義 演習		
2	3) 課題演習①		演習		
3	4) 検定 クロス集計 t検定、F検定、カイ二乗検定		講義 演習		
4	5) 課題演習②		演習		
5	6) 課題演習③		演習		
6	2. 進化するインターネット 1) ITからICTの時代へ 2) IoT時代の到来 3) ビッグデータ 4) AI		講義		
7	3. 情報セキュリティ 1) 情報セキュリティ対策の必要性 2) 情報セキュリティ対策 3) 情報セキュリティ関連法規 4) コンピューターウイルス・犯罪への対策 5) 知的財産権		講義		
8	終講試験				
評価方法		実技試験・筆記試験(100点 配点割合は講師より説明) 他の事項については、履修規程第6条、第7条に定めるとおりとする。			
テキスト		医療系のための情報リテラシー—Windows 10、office2016対応— 共立出版 基礎分野 統計学 医学書院 別巻 看護情報学 医学書院			

基礎分野:「科学的思考の基盤」

科目	単位	時間数	配当年次	学期	講師名
論理学	1	30	1	1	院外講師
到達目標					
論理的な思考・読解力・表現力に必要な基礎的知識を理解し、小論文を書くことができる。					
時	授業内容		方法	備考	
1	自己紹介・講義について・確認テスト		講義	確認テスト	
2	日本語の表記について		講義		
3	悪文を書かないために 語句と文体		講義		
4	敬語表現 文章の書き方の基本		講義		
5	小論文の書き方について:小論文作成1		講義 演習		
6	小論文について①:小論文作成2		講義 演習		
7	小論文について②:小論文作成3		講義 演習		
8	小論文について③:日本詩歌に見る「死」		講義 演習		
9	教科書序論 第1章		講義		
10	教科書 第1章		講義		
11	教科書 第2章		講義		
12	教科書 第3章、第4章		講義		
13	教科書 第4章、第5章		講義		
14	これまでの講義について 小論文作成4		講義 演習		
15	まとめ/終講試験		講義		
評価方法		筆記試験(100点) 他の事項については、履修規程第6条、第7条に定めるとおりとする。			
テキスト		論理トレーニング101題 産業図書			

基礎分野:「科学的思考の基盤」

科目	単位	時間数	配当年次	学期	講師名
生命倫理	1	15	1	1	院内講師(医師)
到達目標					
これから医学を学ぶものとして自己の価値観を知り、人間観・死生観を養うため、生命・人間の尊厳について考えることができる。					
時	授業内容	方法	担当講師	備考	
1	1. 生命倫理の概念	講義	①	※講義を通して自己の考えを述べ、様々な価値観がある事を知り、考えを深める。 【事前学習】各講義のテーマについて調べ、自己の考えをまとめておく。	
2	2. パターナリズムと自己決定権	講義	①		
3	3. 遺伝子治療	講義	②		
4	4. 生殖に関する倫理 1) 出生前診断 2) 不妊治療と代理母	講義	③		
5	5. 安楽死と尊厳死	講義	②		
6	6. 脳死と臓器移植	講義	③		
7	7. 宗教上の治療拒否	講義	③		
8	終講試験		①	45分	
評価方法	筆記試験(100点) 他の事項については、履修規程第6条、第7条に定めるとおりとする。				
テキスト	別巻 看護倫理 医学書院 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度(1) 医療概論 医学書院				

基礎分野:「科学的思考の基盤」

科目	単位	時間数	配当年次	学期	講師名
哲学	1	15	3	1	院外講師
到達目標					
日常的な事柄に対して、哲学的に物事を深く考える力を養うことができる。					
時	授業内容		方法	備考	
1	1. 哲学とは		講義	※講義を通して自己の考えを述べ、様々な価値観がある事を知り、考えを深める。	
2	2. 働くを考える 1)働くとは		講義		
3	2)キャリア 3)プロフェッショナル		講義		
4	3. 行為と責任を考える 1)行為と責任とは		講義		
5	2)看護師における行為と責任		講義 演習		
6	4. 自立と自律を考える 1)自立と自律とは		講義		
7	2)看護師における自立と自律とは		講義 演習		
8	終講試験				
評価方法		筆記試験(100点) 他の事項については、履修規程第6条、第7条に定めるとおりとする。			
テキスト		哲学－看護と人間に向かう哲学－ ヌーヴェルヒロカワ 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度(1) 医療概論 医学書院 別巻 総合医療論 医学書院			

科目	単位	時間数	配当年次	学期	講師名	
物理学	1	30	1	1	院外講師	
到達目標						
自然界に働いている力を物理学的に理解するとともに、医療・看護に用いられる物理学の原理を理解できる。						
時	授業内容	方法	備考			
1	質点の力学 力とは、力の表現、力の書き出し、力の合成	講義	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物や人を動かす、運ぶ、回す、滑らすという場面では必ず力学が関係します。身体に関わる力を意識しながら力学の原理を学習します。</li> <li>・検査・治療・処置の多くの場面では流体の物理が関係することから、静止した流体や流れている流体の力学の基礎を学習します。</li> <li>・看護においても電気の知識が必要であり、その基礎を学習します。</li> <li>・体温の測定や制御を意識しながら熱について学習します。</li> <li>・音波の医療的応用に関し、その基礎を学習します。</li> <li>・看護、医療における光との関わりや光学器械の原理を学習します。</li> <li>・放射線は診断、治療に欠かすことのできない存在であることから、その基礎を学習します。</li> </ul>			
2	前回の復習 ラッセルけん引、力の分解、絆創膏・包帯、質量、重さ、力	講義				
3	前回の復習 運動の法則、仕事 力学的エネルギー、摩擦	講義				
4	前回の復習 斜面の摩擦、力のモーメント(トルク) 力のモーメントのつり合い	講義				
5	前回の復習 剛体の静止の条件、てこの原理 体位変換、重心、重心と安定性、支持基面積	講義				
6	前回の復習 密度、比重、浮力、見掛けの重量	講義				
7	前回の復習 アルキメデスの原理、圧力 液体の圧力、絶対圧とゲージ圧	講義				
8	前回の復習 大気圧、トリチェリーの実験、 流れる液体の力学、ベルヌーイの定理 血圧測定	講義				
9	サイフォン、ボイルの法則、酸素ポンプ・計算 真空採血法	講義				
10	原子、自由電子、電流、電圧、抵抗、直流、交流、 整流、電力、電力量	講義				
11	短絡、感電(アース、マクロショック、マイクロショック) 水の密度変化、比熱、電法	講義				
12	熱力学第0法則、熱量保存の法則 融解熱、蒸発熱、熱の移動(伝導、対流、放射) 電子体温計、音、音波、可聴振動数、母音の発音	講義				
13	音の強さ、音の大きさ、ドップラー効果、うなり 電磁波、光、赤外線、紫外線、幾何光学	講義				
14	放射線の世界、原子の構造、原子核と放射線 $\alpha$ 線、 $\beta$ 線、半減期	講義				
15	放射線の単位、最後のまとめ	講義				45分
16	終講試験					45分
評価方法	筆記試験(100点) 他の事項については、履修規程第6条、第7条に定めるとおりとする。					
テキスト	新体系看護学基礎科目 物理学 メヂカルフレンド 基礎分野 物理学 医学書院					

科目	単位	時間数	配当年次	学期	講師名
生物学	1	20	1	1	院外講師
到達目標					
生物について学ぶことより、人間の生物学的特徴を理解して、人間と自然との共存を図ることができる。					
時	授業内容		方法	備考	
1	生命とは何か 細胞の構造		講義	【事後学習】 ・細胞図を記憶する。 ・細胞小器官の特徴、細胞の構成成分についてまとめる。	
2	細胞の成分		講義	【事後学習】 ・細胞の構成成分についてまとめる。	
3	ATPと酵素		講義	【事後学習】 ・ATPの働きと酵素の性質についてまとめる。	
4	光合成と酸素呼吸		講義	【事後学習】 ・光合成と酸素呼吸のしくみをまとめる。	
5	DNAの複製とタンパク質の合成		講義	【事後学習】 ・タンパク質の合成のしくみについてまとめる。	
6	発生分化とホメオスタシス		講義	【事後学習】 ・ホメオスタシスのしくみについてまとめる。	
7	神経性相関と液性相関		講義	【事後学習】 ・免疫のしくみについてまとめる。	
8	神経系の情報伝達		講義	【事後学習】 ・興奮の伝わるしくみについてまとめる。	
9	動物の行動 人間と環境		講義	【事後学習】 ・筋肉収縮についてまとめる。	
10	まとめ		講義	45分	
11	終講試験			45分	
評価方法		筆記試験(100点) 他の事項については、履修規程第6条、第7条に定めるとおりとする。			
テキスト		基礎分野 生物学 医学書院			

科目	単位	時間数	配当年次	学期	講師名	
社会学	1	30	1	1	院外講師	
到達目標						
社会の中で生活している人間と人間に影響を及ぼす社会的要因について理解できる。						
時	授業内容		方法	備考		
1	1. 社会学で何を学ぶか・授業の進め方・時事問題		講義	<b>【事前学習】</b> ・時事問題から現代社会・社会における諸問題について理解を深める。 ・ニュースや新聞から社会の動向をとらえるとともに自分の考えを持つ。		
2	2. 社会学の誕生		講義			
3	3. 看護の日・コントの精神3段階説		講義			
4	4. 行為と社会的行為(1)		講義			
5	行為と社会的行為(2)		講義			
6	5. マズローの欲求5段階説		講義			
7	6. パーソナリティー		講義			
8	7. 性格の類型説		講義			
9	8. 官僚制(1)		講義			
10	官僚制(2)		講義			
11	官僚制(3)		講義			
12	9. ホーソン実験・ストレス対処法(1)		講義			
13	ストレス対処法(2) 10. 困難を乗り越える力(1)		講義			
14	困難を乗り越える力(2)		講義			
15	まとめ		講義			45分
16	終講試験					45分
評価方法		筆記試験・レポート(14回) (100点, レポート配点については講師より説明) 他の事項については、履修規程第6条、第7条に定めるとおりとする。				
テキスト		なし				

基礎分野:「人間と生活、社会の理解」

科目	単位	時間数	配当年次	学期	講師名	
教育学	1	30	1	1	院外講師	
到達目標						
人間本来の力、人間らしい生き方を育てることに重点をおいた教育の意義・目的・方法について理解できる。						
時	授業内容		方法	備考		
1	「教育学」 教育とは、学力とは		講義			
2			講義			
3	コミュニケーションとしての教育		講義			
4			講義			
5	教育の制度について		講義			
6			講義			
7	学校教育と心の問題、教育相談等		講義			
8			講義			
9	教育相談と心の問題、発達障害について		講義			
10			講義			
11	発達障害、多様な障害種について		講義			
12			講義			
13	特別支援教育について、「教育学」のまとめ		講義			
14			講義			
15	まとめ		講義			45分
16	終講試験					45分
評価方法	筆記試験(100点) 他の事項については、履修規程第6条、第7条に定めるとおりとする。					
テキスト	基礎分野 教育学 医学書院					

基礎分野:「人間と生活、社会の理解」

科目	単位	時間数	配当年次	学期	講師名
心理学	1	30	1	1・2	院内講師
到達目標					
心理学の基本的な考え方と自分を含めた人間の心理、人間関係構築のためのコミュニケーション技法について理解できる。					
時	授業内容		方法	備考	
1	1. 感覚と知覚		講義	【事後学習】 ・心理検査を体験し、人間心理と自己理解を深める。  45分	
2	2. 記憶		講義		
3	3. 思考・言語・知能		講義		
4	4. 学習		講義		
5	5. 感情と動機付け		講義		
6	6. 性格とパーソナリティ		講義		
7	7. 社会と集団		講義		
8	8. 発達		講義		
9	9. 心理臨床		講義		
10	10. 医療・看護と心理		講義		
11	11. コミュニケーション		講義		
12	12. カウンセリングと心理療法		講義		
13	13. コーチング		講義		
14	14. アサーティブ・コミュニケーション		講義		
15	まとめ		講義		
16	終講試験				
評価方法		筆記試験・レポート(14回) (100点, レポート配点については講師より説明) 他の事項については、履修規程第6条、第7条に定めるとおりとする。			
テキスト		基礎分野 心理学 医学書院 基礎分野 人間関係論 医学書院			

科目	単位	時間数	配当年次	学期	講師名
人間関係論	1	15	1	1	院外講師
到達目標					
自己と他者の理解を深め、人間関係の基本、人間関係形成の技法について理解できる。					
時	授業内容		方法	備考	
1	1. 人間関係の中の自己と他者		講義	45分	
2	2. 対人関係と役割		講義		
3	3. 態度と対人行動		講義		
4	4. 集団と個人		講義		
5	5. ライフサイクルと人間関係		講義		
6	6. 家族を含めた人間関係		講義		
7	7. 病気への気づきと来院		講義		
8	終講試験				
評価方法		筆記試験(100点) 他の事項については、履修規程第6条、第7条に定めるとおりとする。			
テキスト		基礎分野 人間関係論 医学書院			

科目	単位	時間数	配当年次	学期	講師名	
英文講読	1	30	1	1	院外講師	
到達目標						
英語の基礎的能力および医学英語の基礎的能力を養うことができる。						
時	授業内容	方法	備考			
1	Unit1. Nice to meet you	講義 グループ ワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストの内容を理解する。</li> <li>・文法、単語、長文を理解する。</li> <li>・リスニングにて内容を理解する。</li> <li>・毎時間、「ナイチンゲール誓詞」原文の朗読を行う。</li> </ul>			
2		講義 グループ ワーク				
3	Unit2. Family Feelings	講義 グループ ワーク				
4		講義 グループ ワーク				
5	Unit3. In the neighborhood	講義 グループ ワーク				
6		講義 グループ ワーク				
7	Unit4. My style,your style	講義 グループ ワーク				
8		講義 グループ ワーク				
9	Unit5. What's your schedule?	講義 グループ ワーク				
10		講義 グループ ワーク				
11	Unit7. Past times,fast times	講義 グループ ワーク				
12		講義 グループ ワーク				
13	Unit8. The things we eat	講義 グループ ワーク				
14		講義 グループ ワーク				
15	まとめ	講義		45分		
16	Final test			45分		
評価方法	筆記試験(100点) 他の事項については、履修規程第6条、第7条に定めるとおりとする。					
テキスト	New English Upgrade      MACMILLAN					

科目	単位	時間数	配当年次	学期	講師名
看護英会話	1	30	3	1	院外講師
到達目標					
医療の場において必要な英単語を理解し、英語で会話ができる。					
時	授業内容	方法	担当講師	備考	
1	1. Hospital Departments	講義	①	・英文を読んで情報や意向などを理解し概要や要点をとらえる。 ・聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどについて整理して書く。	
2	グループワーク	グループワーク	①		
3	2. Parts of the Body	講義	①		
4	グループワーク	グループワーク	①		
5	3. Illnesses	講義	①		
6	グループワーク	グループワーク	①		
7	4. Daily Routine	講義	①		
8	グループワーク	グループワーク	①		
9	5. Hospital Objects	講義	①		
10	グループワーク	グループワーク	①		
11	6. Hospital Directions and Instructions	講義	①		
12	グループワーク	グループワーク	①		
13	7. WHO憲章の読解	講義 グループワーク	②		
14	8. 看護論文(要約)の原文	講義	②		
15	まとめ	講義	①	45分	
16	終講試験		①		
評価方法	筆記試験、課題提出内容(100点) 他の事項については、履修規程第6条、第7条に定めるとおりとする。				
テキスト	Vital Signs ホスピタル・イングリッシュ 南雲堂				

科目	単位	時間数	配当年次	学期	講師名
保健体育	1	30	1	1	院外講師
到達目標					
体力を增強し、健全な心身の発達を図り、メンバーシップ・リーダーシップについて理解できる。また、健康支援のための体操を理解できる。					
時	授業内容	方法	備考		
1	ストレッチ	実技	・チームを編成し、試合形式で実施する。		
2	バレーボール①	実技			
3	バレーボール②	実技			
4	バレーボール③	実技			
5	バスケットボール①	実技			
6	バスケットボール②	実技			
7	バスケットボール③	実技			
8	バトミントン①卓球①	実技			
9	バトミントン②卓球②	実技			
10	上半身のストレッチ ・寝たままでできる ・座ってできる ・立ってできる ・ストレッチと解剖	実技			
11	下半身のストレッチ ・寝たままでできる ・座ってできる ・立ってできる ・ストレッチと解剖	実技			
12	ロコモティブシンドローム予防 ・ロコモ体操 ・筋力アップトレーニング ・関連する解剖	実技			
13	表情筋トレーニング尿漏れ予防・骨盤底筋体操	実技			
14	マイパック大会①	実技			
15	マイパック大会②	実技			
評価方法	実技試験(100点) 他の事項については、履修規程第6条、第7条に定めるとおりとする。				
テキスト	なし				